

鉄道ピクトリアル

「南満州」(No.161)について終戦記
念月に送る旧日本領土の鉄道の特集

1966年8月号 Vol.16 No.8

<特集> 横太の鉄道

表紙 「志村線のさよなら電車」 岸 幸男 撮影
カラー頁 「初見参のロッキードモノレール」 日本ロッキード 提供
グラフ

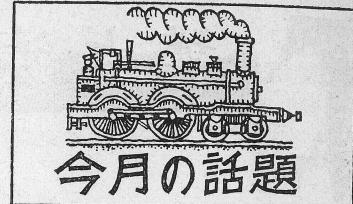
<横太の鉄道特集>

横太の原野を往く	西尾克三郎・米本義之	7
横太府鉄道沿線に捨う	西尾 克三郎	8
横太府鉄道のSL	米本義之・西尾克三郎	10
真岡機関庫の面影	西尾 克三郎	14
横太府鉄道気動車	西尾 克三郎	44
横太府鉄道の客貨車	西尾 克三郎	48
横太鉄道王子製紙落合工場のSL	西尾克三郎・米本義之	50
<第11回鉄道写真コンクール作品>		
列車交換(入賞)	角田 泉	39
元気なDC(入賞)	下田 渉	40
雑木林(入賞)	林 保明	40
パノラマカーと165系(入賞)	松本 隆志	42
明大前付近の井の頭線(推選)	粕谷 慎一	42
早春の炭礎(推選)(解説38頁)	八田 一郎	46
伊予鉄道(2)	和久田康雄・石本祐吉・高松吉太郎	52
頃城のSL最後の日	白土 貞夫	54
トピックフォト(九州・中国、ほか関西・山陰、中部・北陸 ・信越、関東、東北・奥羽だより)		79

記事

<横太の鉄道特集>		
横太鉄道局所管鉄道の概観	菅林 敬祐	4
建設面からみた横太鉄道の40年	中川 浩一	15
横太の軍用軽便鉄道	小熊 米雄	19
横太鉄道局における終戦日記(抄)	故箭内省三・故佐々木善次	22
横太の機関車	川上 幸義	24
横太へ渡った小坂鉄道のNo.1ロコ	金沢 二郎	29
横太の気動車	小熊 米雄	30
横太の客車	小熊 米雄	32
北日本汽船横太鉄道連絡船の憶い出	夏目 晴次	36

今月の話題・中央西線名古屋-瑞浪間複線電化開通		3
鉄道のわだい		38
頃城2号機さよなら運転	白土 貞夫	55
私鉄車両めぐり[67]「伊予鉄道」[2]	和久田康雄・石本祐吉	56
私鉄車両めぐり[68]「遠州鉄道」(終)	武田 彰	63
運転所を訪ねて(4)「金沢運転所」	西脇 恵一	67
東北ローカル線シリーズ⑯「津軽線」	久保田 博	70
質問に答える		72
京葉間スピード記録いまむかし(No.181)の一文に寄せて	成田 敷四	73
車両の動き		74
読者短信		75
6月のメモ帳		78
後部車から・TTKだより		87



カット 土屋 昭雄画

中央西線名古屋-瑞浪間

複線電化開通

大都市周辺で電化のもっとも立ち遅れていた亜幹線として、中京地区と信越地区を結ぶ唯一の動脈である中央西線の電化は注目の的となっていたが、7月1日から名古屋-瑞浪間50.1キロがまず開通、44年10月の名古屋-長野間全線無煙化完成への足がりとして大きな意義をもつことになった。

この区間の電化については、去る30年中央線名古屋-中津川間の沿線都市によって「複線電化促進協議会」が発足し、国鉄中部支社と協力して中央本線の体質改善に積極的な働きかけを行なってきたもので、自來11年間の運動が結実したのである。

今回開通した名古屋-瑞浪間の電化工事は、40年3月複線電化工事の進捗と合せて行なわれ、総工費21億をかけて、去る4月末すでに完成をしたことはトピックフォトでも報じられたとおり、無人変電所は大曾根・春日井・定光寺・多治見・瑞浪におかれ、多治見のCCで制御する。

瑞浪-中津川間の電化工事は43年7月完成の予定であるが、車両基地は目下春日井-高蔵寺間の神領に、総工費30億円で工事(208両収容)が進められており、中津川電化時までに完成するが、瑞浪電化では車両管理は大垣電車区にブルーされる。

投入車両はスカ型42両、EF60形13両、DD50形5両で、これによってローカル列車の増発、通勤列車の電車化が行なわれる。

所要時間は、従来名古屋-瑞浪間最大70分を要したものが約50分に短縮され、朝夕のラッシュ時の乗車効率が220%から185%に緩和される。

[表紙] 「志村線のさよなら電車」
岸 幸男
6100号 西巣鴨にて 41-5-28

ミノルタオートコード ロッコールF3.5
絞り5.6 タイム1/100 フジカラーN100

[カラー頁] 「初見参のロッキードモノレール」日本ロッキード提供
姫路市モノレール 200形3両固定編成車(うしろに見えるのは姫路城)

TETSUDÔTOSHO KANKOKAI
Zenkoku Tabako Bldg. Shibakoen
7-8, Minatoku, Tôkyô/Japan